

語り合える場と語り合える友がいてこそ

副会長 明石洋子

はじめまして。今年度、副会長をおおせつかりました幸区の明石洋子です。「ひまわり」に入会したのは、昭和五十年でもう十一年前になります

すが、五十五年から五年間は、主人の転勤で九州に行っておりまして。

今川崎に戻って丸一年、

「ひまわり」の活動に五年間の大きなプランクがありましてので、今回の役員の仕事も強くお断わりしたのですが、でも引き受けましたからには、前向きに対応し、多くの出会いをふれあいを大切にして、私自身の視野をひろげる機会にしたいと思っております。

「ハンディをもつ子を、ありのままに、当り前に、地域の中で育て、学ばせ、そして就労、自立へ」との方針を表現するためには、到底ひとり

の力ではできません。自分の人生を切り開き、多くの困難をのりこえるためには、知恵を出し合い、助け合い、多くの仲間が必要です。

いろんな場での出会いを大切に、多くの機会を作ってはふれあい、理解し、共感しあってこそ、悲しみや苦しみは何分の一に、喜びや楽しみは、何倍にもなって、困難な問題に対応できるエネルギーもわくと思えます。

語りあえる場があつて、語り合える友がいてこそ、人生は楽しいものとなるでしょう。私の「最高の財産」である「友達」を、ひまわりでまた増やしていきたいと願っております。みなさん、どうぞよろしく。

